第3127回 例会記録
２０１６年４月４日

甲府ロータリークラブ会報

甲府市相生２丁目２－17
電話　055－237－5475
www.kofu-rotary.gr.jp
info@kofu-rotary.gr.jp

世界へのプレゼントになろう

2015－'16年度 甲府RC会長テーマ「足元から」

会　長　進藤哲雄
副会長　由井久夫
副会長　細田　俊
幹　事　山口高明

４月11日 第3128回 例会プログラム

●雑誌紹介
●交換学生卓話
　フレデリック・リボアール様ご挨拶
　（ドリーヌさんの先生、フランスより来日）
「交換学生として来日してから今日まで」
　交換学生　ドリーヌ・ウルバニャック様

本日のメニュー

松花堂弁当
白身魚のマリネ焼き
～さっぱりソース
ポークジンジャー
チキンの味噌カツ
他

次回例会

４月18日（月）
創立66周年記念例会
12:00～食事　12:30 点鐘
場所 岡島ローヤル会館
●甲府ロータリークラブ基金表彰

甲府ＲＣ携帯サイト
www.kofu-rotary.gr.jp

Rotary Song　我等の生業　ソングリーダー 坂本　力

会長挨拶

会　長　進藤哲雄



４月に入りました。私の会長年度もあと４分の１です。もう少しですのでよろしくお願い致します。

３月５日のパネルディスカッションの折に参加してくれた方から50年近く前のロータリーと若者の討論会の新聞記事を送っていただきました。当時の会長が露木寛様　幹事が岡島哲之助様　広報委員長が丸茂平造様という諸先輩メンバーで甲府工業、甲府二高、甲府南高英和高校等の生徒の新聞部員を集めてロータリークラブの歴史や活動などを紹介した後、意見交換会をした事が記事になっていました。そこにその記事を送ってくれた方と、私の妻が高校２年生という紹介で載っていました。数えて見ると52年前、私がまだ16歳でまだ充分髪の毛があったころのことです。地域で奉仕活動を継続していく意味をあらためて感じました。

先週卓話をいただきましたサミエルさんから望月プログラム委員長を通じて卓話の謝金を寄付したいとの申し出がありましたのでありがたくいただく事にいたしました。

それでは今日の一句です。

桂　信子　　ごはんつぶ　よく噛んでいて　桜咲く

大阪出身の俳人　単純な描写の中にいろんなことが想像できる面白い句です。

幹事報告

１）他クラブの例会変更のお知らせはありません。
２）今週末４月10日（日）には、静岡市のグランシップにて地区研修・協議会が開催されます。ご参加の会員は6時50分までに印傳屋本店様横の駐車場にお集まりください。
３）次週より、６月の富山RC65周年記念式典に参加していただく皆様に、登録料１万円とゴルフをされる方には参加費５千円を集めさせていただきます。ご協力お願い致します。
４）本日例会終了後、当会場のメインテーブルにて第12回理事会を開催いたします。理事役員の皆様には、ご出席いただけますようお願いいたします。
５）ロータリーレート　４月　１ドル＝116円

出席報告

（敬称略）

（会員数　１１１名）

	出席者数	出　席　率
本日の出席	86/106	81.13％
前々回の修正	93/107	86.92％

（出席免除会員18名）

〔本日の欠席者〕
池谷、井上、内海、屋田、小俣、阪口、髙野、髙村（昇）、田淵、鶴田、中村、野口、野原、林、平嶋、三神、森、山内（章）、山内（大）、依田　　以上　20名

〔出席免除会員の本日出席者〕
長田（眞）、金丸、新海（照）、田中（好）、内藤（悦），中澤、深澤、古屋、丸茂（紀）、宮城、山本（孝）、横山、西川（一也）

〔他ＲＣに出席及びメークアップ会員名〕
３月22日～23日　地区交換学生スキーの集い　松村（昌）
３月29日　第２ゾーン会議　野口
３月30日　甲府シティＲＣ　野原、熊倉
３月31日　甲府西ＲＣ　阪口、依田

■本日のゲスト

交換学生　　ウルバニャック・ドリーヌさん

■ホストファミリーに御礼と交換学生にお小遣いの贈呈

交換学生　ウルバニャック・ドリーヌさん

■今月のおよろこび（敬称略）

◎本人誕生日

飯野	４日	内藤（民）	６日	高嶋	10日
新海（照）	11日	淡路	15日	丹沢	29日

◎夫人誕生日

茂木	５日	田中（好）	６日	内藤（久）	13日
上原（重）	14日	山内（章）	22日	飯嶋（均）	23日
角田	26日				

◎結婚記念日

平井	２日	谷口	２日	梅本	３日
髙村（隆）	３日	雨宮（俊）	５日	池谷	６日
平嶋	６日	杉本	７日	由井	16日
安藤	26日	森	28日	岸本	28日

■講師卓話

「ロータリークラブのエンブレムに東アジアから21世紀的意味を付与する」

第2620地区ロータリーの友地区代表委員

佐藤　正幸 会員（山梨大学名誉教授）

今回、ロータリーの雑誌に関する卓話を依頼されたのを機会に、思い立って、ロータリーの機関誌であるThe Rotarianを、1911年１月発刊の第１号から読み始めました。数年分読んでいくうちに、頭をよぎった疑問は、この歯車模様のロータリー・エンブレムは、いつから使われ始めたのだろうかということでした。The Rotarian表紙の挿絵を手がかりに、100年分を調査してみました。



その結果わかったのは、1912年６月号から表紙写真に歯車(Gear)らしきイメージが出てきます。歯車そのものを表紙に載せたのが1912年９月号、現在の歯車エンブレムが登場したのが1929年２月号でした。６本のスポークを持ち車軸が中空である現在のロータリー・エンブレムの誕生です。



ロータリークラブは、発足以来この111年の間に、世界に広まりました。ロータリークラブの21世紀における意味づけを、ロータリーのシンボルである歯車のイメージを使用して、東アジアからの発想として考えてみたいと思います。私は次の２例を挙げたいと思います。





（１）『老子道徳経』第11章

（原文）三十輻共一轂、當其無、有車之用。

（読下し）三十の輻(ふく)、一つの轂(こく)を共にす。その無に当たりて、車の用あり。

（翻訳）車輪は、三十本のスポークが真ん中のハブに集まって出来ている。そのベアリングに車軸を通す穴があいているからこそ車輪としての用を為すのだ。

「無用の用」と言われるこの一節は、全体の中心をなす車軸は空であるからこそ役目を果たすという哲学です。固定したクラブハウスを持たず、毎週一回会員が集まって食事をするというロータリーのクラブ哲学は、まだまだ世界に向けて発展する可能性を秘めています。

（２）ロータリーソングの「手に手つないで」

甲府ＲＣでは、クリスマス会の最後に、出席者全員が輪になり手をつないで歌う歌です。この歌は、昭和26年に東京ＲＣ会員矢野一郎氏（第一生命社長）が作詞作曲したものです。「手に手つないで」は実に意味あるロータリークラブのシンボリックアクションで、まさに歯車のイメージを体現しています。このロータリーソングは、日本のロータリークラブだけでしか歌われていません。海外のロータリークラブに広めたらどうでしょうか

この二つに共通するのは、中心が空だということです。中心は在るのですが、そこには何も無いのです。しかし、何も無い中心があるからこそ、一つのまとまりのとれた円型統一体が存在しうるのです。円卓の起源が示すように、円型は平等のシンボルでもあります。これはまさに現在のロータリーのエンブレムの図柄そのものが指し示している21世紀のロータリークラブの哲学ではないでしょうか。

（敬称略）

ニコニコボックスご利用のかたがた

甲府ＲＣ

進藤　哲雄、山口　高明
サクラ満開ですね。

田中　好輔　何とかＶＦＫ甲府はお定まりの15位のポジションを上に脱してほしい。その願いを込めて。

・講師卓話：テーマ「世界を結ぶロータリーの友」

・講師：第2620地区ロータリーの友地区代表委員
佐藤　正幸 会員　宜しくお願い致します！

柴山　聡、遠山　薫、熊倉　浩高、中澤　厚男、山本　孝夫、清水　元章、磯部　優、淡路　啓二、内藤　民部、雨宮　俊彦、内藤　悦次、飯野奈津子、加藤　千典、丸茂　紀彦、上原　重樹、山寺　戦治、成澤　暢彦、小林　照俊、木田　茂樹、佐々木宏明、加藤　吉一、谷口　文一、丹沢　良治、川上　明彦、飯嶋　均、秋山　仁博、安藤　耕治、上原　勇七、五味　晃、鈴木　寛、柿原　正明

本日ニコニコ金額	34口 34,000円
ポリオプラス資金へ繰入	3,400円
ポリオ資金累計額	152,600円

（会報委員　丸茂正樹）